

総合戦略

第1章 基本的な考え方

第2章 嘉手納町人口ビジョン

第3章 嘉手納町デジタル田園都市
構想総合戦略

第1章 基本的な考え方

1 地方版創生総合戦略策定の趣旨

人口減少社会を迎え、地方の過疎化や地域産業の衰退などが大きな課題となる中で、近年、テレワークの普及や若年層の地方移住への関心が高まるなど、社会情勢は大きく変化しています。また、デジタル技術は急速に進歩し、人々の生活に広く活用される段階に移行しつつあります。こうした社会情勢を踏まえ、国は第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました。（令和4年12月23日閣議決定）

市町村においても、まち・ひと・しごと創生法第9条及び第10条に基づき、国の総合戦略を勘案し、それぞれの地域が抱える社会課題などを踏まえて、地域の個性や魅力を生かす地域ビジョンを掲げた「地方版総合戦略」を策定するよう努めなければならないとされています。また、デジタル田園都市国家構想の実現に向けて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やデジタル技術の浸透・進展など、時宜を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を再構築した上で、地方版総合戦略の策定、改訂に努める必要があるとされています。これらのことから「第2期嘉手納町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、「嘉手納町デジタル田園都市構想総合戦略」を策定します。

「嘉手納町デジタル田園都市構想総合戦略」は、嘉手納町人口ビジョンの将来展望を踏まえ、目標や施策の基本的方向、具体的な施策等を取りまとめます。なお、本町は、町域の82%が米軍用地として占有されており、まちづくりや土地利用、地域活性化等を進める上で大きく影響を及ぼしています。人口ビジョン、さらには総合戦略においても米軍用地の動向を見据えて検討する必要がありますが、基地返還の見通しが立たない状況において、現状では、既存市街地の有効活用が求められています。総合戦略においては、人口ビジョンを踏まえて、米軍用地以外の既存市街地における展開を基本とし、人口ビジョンにおいても同様に既存市街地における推計とし、今後の基地返還の動向等が明らかになった段階で、適正に見直し等を図ることとします。

2 嘉手納町デジタル田園都市構想総合戦略と国・県の総合戦略との関係

「嘉手納町デジタル田園都市構想総合戦略」は、国が策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」、沖縄県が策定した「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」及び「第1期・第2期嘉手納町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や基本方針等を勘案し、整合性を図りながら策定することとします。また、近年の社会情勢を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるさまざまな影響を踏まえた施策や、デ

デジタルの力を活用した施策を展開していきます。

■ デジタル田園都市国家構想総合戦略

● 目指す社会

「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」

● 施策の方向

基本目標① 地方に仕事をつくる

基本目標② 人の流れをつくる

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 魅力的な地域をつくる

■ 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）

● 人口の状況

現在も増加基調にあるが、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」によると、令和12年前後にピークを迎えた後に減少に転じるものと見込まれている。

● 沖縄が目指すべき社会

地域における「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことが重要であり、まち・ひと・しごとの創生に同時かつ一体的に取り組むとともに、「沖縄県 SDGs 推進方針」を踏まえて、持続可能な沖縄の発展を目指すことが必要である。

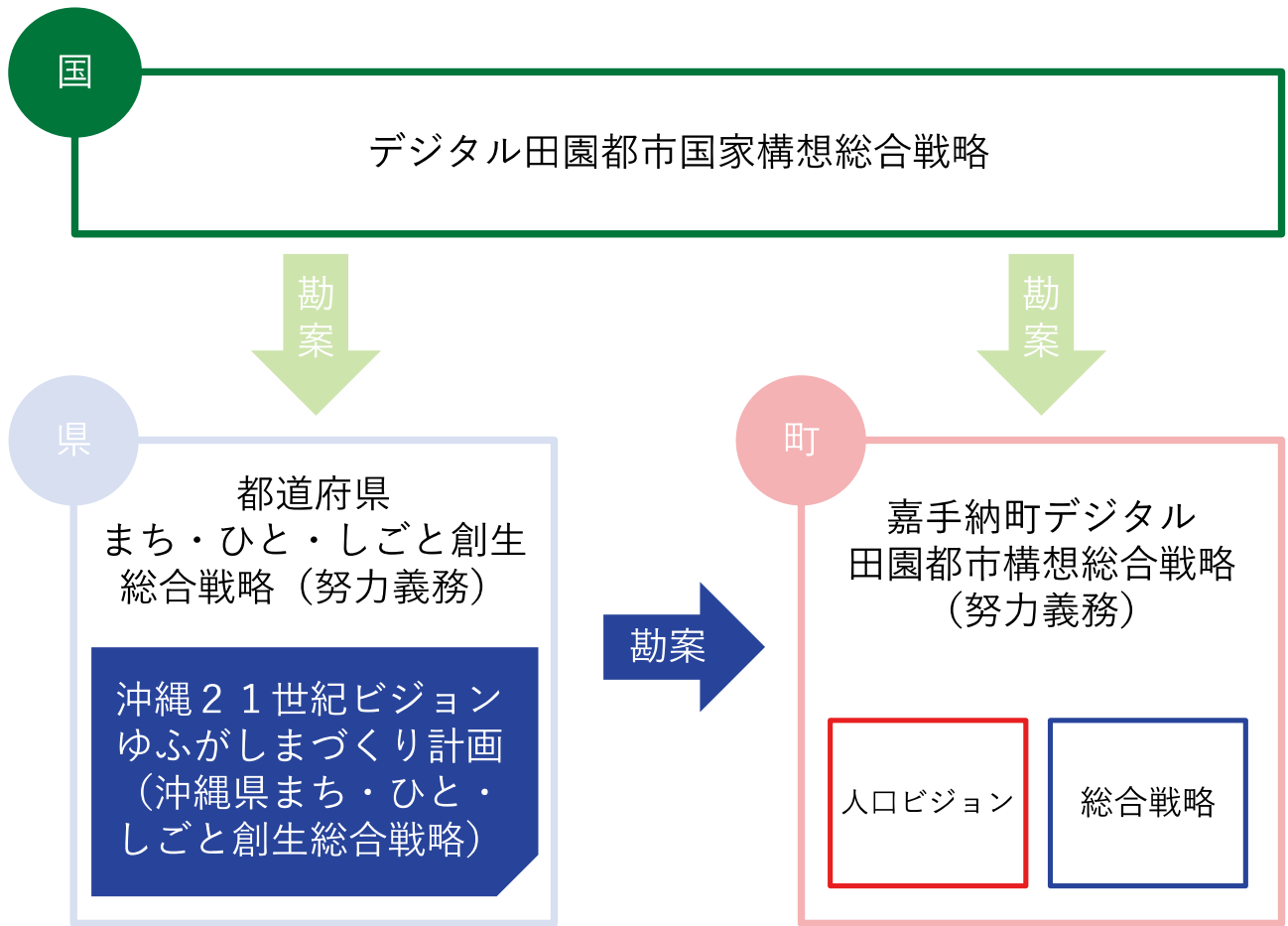
● 取り組みの方向性と各主体に期待される役割

① 活力ある持続可能な社会の実現に向けて、「家庭・地域社会」「事業者」「行政（県・市町村）」の相互連携による県民気運の醸成が重要であることから、それぞれが期待される役割を果たすことが求められる。

② 結婚、出産、子育てを支え、仕事と両立できる環境づくりのためには、「家庭・地域社会」や「事業者」の理解と協力が不可欠である。

③ 増加する人口を支える就業の場を創出するためには、「事業者」の努力と、事業者の経営課題解決等に向けた「金融機関」の支援が必要となる。

④ 「行政」には、県と市町村のそれぞれの役割に応じて目指すべき社会の実現に向けた施策を総合的に推進するとともに、県及び市町村並びに市町村間相互において連携した取組を進めることが求められる。

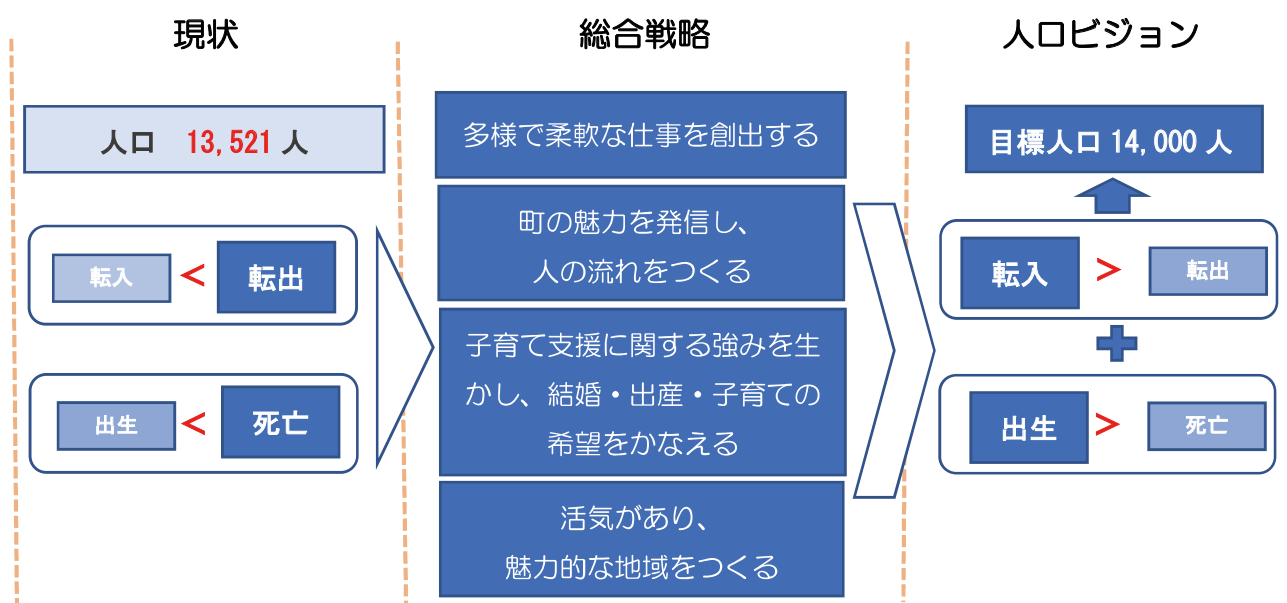


図表14 国・県の総合戦略とのフロー図

3 嘉手納町人口ビジョンと総合戦略の位置づけ

第5次嘉手納町総合計画で、目標年次である令和10年における嘉手納町の将来総人口に設定している、14,000人に近づけるために「嘉手納町デジタル田園都市構想総合戦略」において自然増、社会増による人口増加に関する各種施策を実施していくことが必要となります。

「嘉手納町デジタル田園都市構想総合戦略」は、国が策定する施策の方向等を勘案し、整合性を図る事を踏まえ「多様で柔軟な仕事を創出する」、「町の魅力を発信し、人の流れをつくる」、「子育て支援に関する強みを生かし、結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「活気があり、魅力的な地域をつくる」の4つの基本目標を設定し、各基本目標において人口増加に関する施策を展開するものとします。



※現状の人口は令和2年国勢調査を基にしています。

図表15 人口ビジョンと総合戦略の位置づけ